動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合
〒260 千葉市中央区要町2番8号（動力車会館）
電話 (鉄電) 千葉 2935・2936番
(公) 043(222)7207番

92.10.8 No.3670

運転士と乗客の命を守る抜本策は

立体交差化としかない

区長呼びかけの「200円」を許すな！

九月三〇日、電車運転士の殉職をまねいた成田線踏切事故に関する団体交渉が開催され、JR東日本の、安全無視の体質が益々あらわになった。

命を守るための動労千葉の主張！

まず会社から、申入れに対する回答と、負傷した乗客の状況が明らかにされた。しかし、社員を殉職させたことに対し一申し訳ない一という姿勢が全くないことから、組合は一八年間に三人も死なせておいて、会社としての責任をどう感じているのか一と、厳しく追及した。

約三時間の交渉のなかで、動労千葉は、①乗客と社員の命を守る抜本的対策は、当該踏切の立体交差化しかない、②安全キャンペーンや前面強化等の車両改造を否定するものではないが、③踏切の地形的条件や、ダンプカーの過積みに関する社会的状況から、踏切の立体交差が完成するまでの間、次善策として、当該危険箇所での列車のスピードダウンをすべきである、と主張した。

不信を深める会社の回答？

会社は、立体交差化については一やるかどうか分からない一、スピードダウンについては一やる考えはない一という回答に終始したため、団交は、激しく対立したまま終わった。

また、一救援に三時間もかかったことが運転士を死なせたのではないか一という疑問に対しても、不信を解消する回答はなされなかった。

企業責任隠蔽運動を粉砕しよう！

交渉の細部は、別途、職場討議資料等で明らかにするが、会社が、悪質な事故責任の隠蔽策動を開始したことに対して、われわれは、命を守るための新たな闘いを決意しなければならない。

千葉支社の現場長が発起人になり、踏切安全のキャンペーン運動をやる、新聞広告をやるために社員から一一〇〇円以上一のカンパを募る。しかも、事務局長が事故当該の千葉運転区長だというのである。こんなマンガが許せるか。

「一〇〇円」にだまされるな！

第一に、これは一俺たちは一生懸命やっている一という形での、事故に対する企業責任隠蔽運動である。

第二に、これは一支社長命令一でなく一現場からの自主的運動一という体裁をとった小集団活動である。

第三に、一一〇〇円一という額と、職制からの有形無形の圧力によってカンパを強制し、カンパに応じたことで一参加している一という意識を持たせ、さらに、一休日に、自主参加の踏切キャンペーンをやろう一、一もっと金を出しあって〇〇をやろう一とエスカレートするのが必然の一運動一である。

区長なら他にやることがあるはずだ

われわれの命を守る抜本策は、客観的に踏切の立体交差化しかないのだし、それまでの間は危険箇所でスピードを落とすしかないのだ。

現場長なら、部下社員の命を守るために、一首を賭けても一このことを社長や支社長に要求するのが第一ではないか。

にもかかわらず、上からの指示に従って、一ダンプが悪い一と騒ぐことで、本当に、命を守る唯一の道を見えなくしてしまう運動に走ることなど、絶対に許してはならない。

一一〇〇円一にだまされるな！

命を守る闘いに決起しよう！

割れる窓、乗客血まみれ

成田線の踏切事故

これ以上殺されてたまるか!!（9/14付朝日）

10・13 10・11 三里塚現地へ

成田駅改札口
10時30分集合

自衛隊出兵阻止
小牧現地闘争へ

前日(12日)20時
動力車会館集合

反合・運転保安確立！ 反戦・反核を担う労働運動を！